※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １２０５ |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書Ⅰ」　（光村図書） | | | | | | |
| 副教材等 | 自主教材プリント | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校や中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いなどを学びます。
・楷書や行書など様々な書体を体験し、筆の特性を知り、使いこなすことによって、自分らしい文字表現をめざします。
・身近に飾れる作品を制作することで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

## ２　学習の到達目標

| 観点 | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|---|---|---|---|
| 到達目標 | 書の表現方法や形式、多様性等を幅広く理解するとともに、書写技能の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着ける。 | 書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 | 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・古典作品の解説を読みワークシート内に作品の特徴を書き込むことができる。<br>・作品を鑑賞して感想をまとめることができる。<br>・古典の書体や書風に即した用筆・運筆・字形・構成を考え書くことができる。<br>・行書を読み、筆順を理解することができる。<br>・古典作品の字形や特徴を生かして創作作品を作ることができる。<br>・変体仮名を読み、書き方を理解することができる。 | ・筆で古典作品を臨書して、それぞれの作品の書法の違いを表現することができる。<br>・半紙だけでなく、半切などの大きな紙にも紙の大きさに合わせて表情豊かに臨書することができる。<br>・古典作品の書体を活用して、漢字仮名交じり文の創作をすることができる。<br>・展覧会でさまざまな作品を鑑賞して、自分の作品との違いなど様々な視点や角度から観賞レポートを作成することができる。 | ・課題作品にふさわしい書体や技法で作品を仕上げようとする姿勢がある。<br>・墨の濃淡や潤渇を使って作品を仕上げようとする意欲や姿勢がある。<br>・作品に対する教員の指導に対して積極的に改善しようとする姿勢が見られる。<br>練習意欲や積極的に質問する姿勢が見られる。<br>・振り返りシートに授業で頑張ったところやうまくできなかったことを記入させる。 |

※令和４年度以降入学生用

| |
|---|
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 書写から書道へ | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | a:書写と書道の類似点･相違点、正式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b:書写での基本を踏まえ表現を工夫している。<br>c:姿勢や執筆法の基本を身につけ表現している。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 提出作品 | ポートフォリオ<br>提出作品 |
| | 漢字の書（臨書） | 「九成宮禮泉銘」を用いた古典の臨書学習<br>「顔氏家廟碑」を用いた古典の臨書学習 | a:時代背景や拓本についての理解を深め漢字に対する関心を持ちながら取り組む。<br>b:基本点画を理解し、表現を工夫する。<br>c：古典の特徴を理解し、感性豊かに鑑賞できる。： | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 提出作品 | 提出作品<br>ポートフォリオ |
| | 漢字の書（創作） | 一字書の創作を生かしたうちわ作り | a　a:「九成宮禮泉銘」や「顔氏家廟碑」で学んだ学習を応用する形で、楷書の基本的な技法を意識しながら取り組む。<br>b:自分で選んだ作品から自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。<br>c:基本的な能力を活かし、効果的に表現しようとしている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 提 出 作品 | 提出作品<br>ポートフォリオ |
| | 漢字の書（臨書） | 書道コンクール作品の作成 | a:「九成宮禮泉銘」や「顔氏家廟碑」で学んだ好きな作品を選び、作品作りに取り組む。<br>b:　基本点画を理解し、表現技法を工夫して制作する。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 提 出 作品 | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 篆刻 | 名前の印を制作する | a篆刻の歴史や特徴等についての理解を深め、篆刻に対する関心を持ちながら取り組む。<br>b:篆書体の基本点画や造形を理解し、表現を工夫する。<br>ｃ:印稿の構成やバランスを理解し、感性豊かに鑑賞できる。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 提出作品 | ポートフォリオ<br>提出作品 |
| | 漢字の書（臨書） | 「蘭亭序」を用いた古典の臨書学習 | a:時代背景や拓本についての理解を深め漢字に対する関心を持ちながら取り組む。<br>b:基本点画を理解し、表現を工夫する。<br>ｃ:古典の特徴を理解し、感性豊かに鑑賞できる。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 提出作品 | 提出作品<br>ポートフォリオ |
| | 漢字かな交じり文（創作） | 将来の目標を漢字かな交じり文で創作カレンダーを作る（構成・書風・書体を意識した表現） | a:活字には無い手書き文字の良さについて関心を持ち、積極的に表現しようとしている。<br>b:文の内容にふさわしい構成・書風等を意識し、工夫しようとしている。<br>ｃ:表現が一様ではない: | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 提出作品 | 提出作品<br>ポートフォリオ |
| | 仮名の書（臨書） | 仮名の基本的な用筆を習得し、いろは歌からミニ創作まで展開する | b:仮名の基本点画を理解し、表現を工夫している。<br>b:古典の技法を取り入れながら、仮名の特徴を生かして表現している。<br>c:日本古来の古典の美しさ・特徴を理解し創造的に鑑賞している。 | | 提出作品 | 提出作品<br>ポートフォリオ |